時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行普通四字詰	一日限	二日以上六日迄	一行二付 七日以上十五日迄	一行二付 十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至廿行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上一	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

一行二付 一行二付

時事新報

歐洲列國の形勢タイムス及エコノミストの議論

近時歐洲列國の形勢を如何にと云ふに戰爭破裂の機目前に迫りたる者にして毎々ルートル電報の所報に據るも今度よそ必ず交戰あらんなれと人をして全歐亂離の念を懷かしめたる幾回なるを知らず甚だ不容易の事情なれども驟て他の一方より新みるに列國とても漫然戰を賭して自ら鬨するを悅ぶ者に非されと其間出來得る丈けは平和穩便の手段に依賴し以て今の時局を緩ばんとするの本心あると明白れ事實あるが故に諸爰に至り列國の形勢は和戰孰れの一方へ傾く可き者なるやと云ふに吾々局外の地に在りては彌よ〳〵判斷に苦まさるを得されとも此程の便にて到來したる倫敦タイムス及びエコノミストに歐洲和戰の成行如何を預言したる論文ありて兩社ともに其所見を同うしたる者の如き我輩之に依て聊か列國の形勢を解得しさる所もあるとは左に其要略を意譯して諸君參考の一助に供せんと欲するなり

歐洲今日の形勢は極めて危急なるに相違なし彼のソールズベリー侯が倫敦府知事の宴席に於て列國の平和は望みありと演說を試ゝ又ビスマルク公が或る列國の使に向ひ予は飽くまで全歐の平和に盡力可しと口外する類の如き は少しも恃み甲斐ある言語にあらず總じて厳る筆術に立つの人と縱令へ內心に如何なる想案を懷くにもせよ表面に之を公示する能はざるは無論にして譬は窃に交戰の覺悟を爲しながら尙は悠然泰平の色を装ふは抑も〳〵地位の之をして然らしむる者なれば世人の徒に二三有名なる政治家の辯と親ひ其語氣に平和の兆候あるを以て歐洲に干戈の恐おしとするは太早計の議論なる可し又表面の事實に於ても列國の間容易に破裂なからんと思はるゝ其裏面に交戰の機は既に熟して突然干戈を動すに至る者珍しからず例へば去る千八百七十年普佛戰爭の際の如き英の宰相グランヴィル侯は「歐洲の空氣に一點の陰雲なし列國の機密を知らさるあるの人にして明に其次第を已れに告げたるなれば平和疑もなる可らず」と爾かも自ら信用して議院にまで其旨を報告したるに何ぞ料らん戰爭は忽ち破裂して全歐の局勢一變したり是れ即ち和戰の決は當路の政治家と雖も像め測る能はざるの證據にして今の列國の形勢も或た斯る有樣なを保す可ゝず且つ一歩を進めて論ずるに墳地利匈牙利は獨にガリヤの邊疆に兵を送り維也納に於ては屢々軍事會議を催し其他國會の動決を待さずして隨軍費目に供し得可き金額二千五百萬乃至二千八百フロリンを直に軍用に支辨せんとそるの計畫もあり又ガリヤ地方に兵士廿萬人と容るべきの軍營家屋を建築を更に義勇兵を點檢して後備軍般の風說孰れも戰爭破裂の兆候を爲すあるの事等を急にせんとするの企てもあり兎に角に露墳講和の申すに及はず河川を渡る爲めの軍用橋梁を設けて進擊の準備を爲さしむる手筈なりなと云ふ諸説の如き者なるあし

然り而して之に對する露國政府の樂動を見るに窃にポーランド邊疆の守兵を增して攻守の用意を嚴にするあり此一點より列國の形勢を推測すれば彌よ戰亂の發するも且に夕べ保たざるの趣なりと云ふ可し

現今列國の間に大問題たるは例のバルガリヤ國王フェルディナンド公存廢の論なり露國は始めよりフェルディナンド公の即位に不同意にして飽くまでも之を廢せんとするの決心なるに引替へ他の列國い其在位を厭ふ者に非ず去迚露國を敵ふしても是非バルガリヤの王位をフェルディナンド公に與へんとの覺悟も見えず甚だ曖昧なる處に生路を殘して孰れとも方向の決せざるは抑も〳〵理由あるが故あり即ち列國が同盟連合と爲す以上は今のフェルディナンド公と廢するい誠に無造作なれども偖此公を廢して何人と後の候補者と爲す可きの段に至り列國の利益にも妨害なく又露國の希望をも損ねず して中立不偏なる人物むバルガリヤの君主に擧ぐるは永却未來覺束なくと云はざる可らず斯る候補者の顯はれざる共間はフェルディナンド公の廢位少しも今の時局と救ふに足らざるのそか之が爲めに一條値ふ繰々として絶えざる和平の線路と破壞し全歐をして亂離の世界たらしむるの恐なくに非ず列國は此危險の大なるを察して容易に露國の要求ふ應せざるに露國は又强て列國に迫りてフェルディナンド公の廢位を主張するは雙方共に所詮折合の就く可らざる事柄を無理に談判するの類にて其結局喧嘩口論に至らざれば已むときなからんのみ畢竟フェルディナンド公を廢するい容易ありとするも更に其後嗣と撰むに當り露國の歡心を買はんとすれば墳國の不承知なるは萬々にて墳國の存意を貫かんとすれば露國忽ち憤怒して開戰恐嚇の手段に及ぶ可し其狀恰も氷炭相容れざるものに殊ならず其始めには雙方互に自重して漫に交戰もなからんなれども早晚一度耐忍の緒を斷て一大破裂ある可きと遽に於て明白なりとす

是に由て之を觀れば昨今列國の形勢は實に累々然たる者ふして何時其破裂あらんも知る可らざるに似たれども爰に確かなる一事と云ふは外ならず即ち國際交戰の始まりい恰も國際談判の終りと其時と同うして一大戰爭破裂の以前には必ず一大外交談判の起ると常とそる者なるが故に今回歐洲に擧亂の虞ありとそるも之に先ち一旦は世の耳目を驚かす可き談判ある可き筈なるに昨今軍事上の形勢ハ日に危急なるにも拘はらず外交上の局勢未ざ至急開戰を促せの樣に迫りし者とも思はれず隨て今月今日を期し戰爭の起る氣遣ひはなからんなれとも同時に列國の葛藤は到底平和に其局を結ぶ者に非ざるの理亦推して知る可ちあり

官報

○遞信省告示第十九號
獨逸國ノ保護ニ屬スル「ニューギニー」會社所領地本年一月一日ヨリ萬國郵便聯合ヘ加入ス
○明治廿一年二月廿一日　遞信大臣子爵榎本武揚
○天然痘　香港天然痘の流行は益々熾にして去月十二日より同二十八日に至る僅に一週間内に於て該病のため死亡せし者遂に八十八名の多數に達したりと本月六日附を以て同港我領事館より通報ありたり（外務省）

○フヨ草栽培に計畫　先年フヨ草より絲を採り以て諸織物を製造するの法發明ありし以來該品の需用漸次盛大に赴くの勢あるを察し佛國政府に於ては此際右フヨの栽培及其製絲法等を改良し尙ほ國益を興さんがため此程議員官吏及製造家等より十四名の委員を設けさりとに該員等は夫々調査の末即ち一編の意見書と草して其筋へ呈出せり其大要を抄譯すれば左れ如しと昨年十二月十七日附を以て在里昂領事館より報告ありたり（外務省）

交趾東京、馬鳴プールボン、マルチコック、ジアドルーフ等ノ屬地ヘ試作圃ヲ設ケ其地味適當ノ「フヨ」種ヲ栽植シ其栽培ノ方法肥料ノ使用方最良收穫ノ手段等ヲ研究セシムル事

栽培方法書ヲ附シ「フヨ」草種ヲ該屬地土人ニ無代價ニテ配附シ其栽培ヲ奬勵シ且ツ各地方ニ巡回教師ヲ置キ其培養方ヲ教授セシムヘキ事

「フヨ」栽培地方ノ耕作人（但シ小圃所有主）中最モ優等ニ栽培セシ者ヘハ其地方ノ產業奬勵ノタメ毎年之ニ褒賞ヲ下附シ且ツ「フヨ」耕作人一般ヘ地租減納若シクハ三年間輸出稅免除ノ特典ヲ與フヘキ事

耕作ノ盛大ニ行ハル、屬地及阿爾及耳ニ於テ二「エクタール」（一「エクタール」ハ我一町二十五歩）ヨリ少カラス五「エクタール」ヨリ多カラサル「フヨ」園ヲ有シ最モ優等ニ栽植セシモノヘハ奬勵トシテ一箇年三百法（一法ハ凡ソ我二十五錢）ヨリ五百法及千法マテ十「アール」（一アール我三十歩二五）ヨリ少ナカラス二「エクタール」ヨリ多カラサル耕作ニ從事スルモノヘハ二百法ヨリ三百法及四百法マテノ補助金ヲ下附スル事

一箇年ニ「フヨ」草幹ヲ最モ容易ニ且ツ經濟ナル剝皮機械ヲ發明シタルモノニ對シテハ二萬法ノ賞金ヲ下附スヘシ但シ此機械ハ大臣ノ指名スル審査官立合ノ上在巴里工藝博物館ニ於テ實地試驗ヲ要スル事

右補助金及賞金ノ外ニ毎年屬務省及屬地省ノ定額中更ニ六萬法ノ項ヲ增設シ之ヲ「フヨ」草試驗費官吏派出費等ニ充テシムル事

右委員中專門家ノ報告ニ據レハ「フヨ」草ハ其性質ニ適當シタル氣候ノ土地ニ培養スルニ於テハ多費ヲ要セシテ纖物原質ノ多量ヲ收穫スルヿヲ得ヘシ抑々此草ハ生長活潑ナル質ヲ有シ氣候ニ適シタル土地ニ栽植スルニ於テハ一年間ニ三四度マテ栽枝スルヿヲ得（「メートル」四方（一「メートル」ハ我三尺三寸）ヘノ植付量ニシテ四十若クハ五十本ノ枝即チ一「エクタール」ニ付キ四十萬乃至五十萬本ノ枝ヲ收穫スルヿヲ得ヘシト云フ而シテ其纖維彈力强タ且ツ柔軟ニシテ之ヲ絲ニ製シ織物ニ爲スニ於テハ頗ル丈夫ニシテ且ツ光澤アリ

阿爾及耳及突尼斯地方ニハ凡ソ一萬二千「エクタール」ノ適當ノ場所アル趣ニテ其二百「エクタール」ノヘ「フヨ」草ヲ培養スルモ凡ソ百萬基（一基ハ我二百六十六匁二分）ノ纖維ヲ製絲スル製造場ノ原料ニ充ツルニ足レリト云フ又中央亞米利加ノ屬地ニモ亦適當スヘキ趣ナレハ就中交趾ノ如キハ委員ニ於テ最モ其栽培ニ適當ノ土地ト認メタリ是レ他ナシ第一同地ハ其栽培ニ必用ナル水由多キト賃銀低價ニノ人力ヲ以テ其皮ヲ剝去スルヲ得ルノ便アリトニ因レリ而ノ此絲料ヲ佛國ニ送リ製絲ニ供スルトキハ獨リ本國ノ工業ヲ助成スルノミナラス產出地ニ於テモ輸出品ノ原料ヲ得、彼我ノ潤益鮮少ニ非サルヘシト云ヘリ

委員ニ於テ各屬地ニ「フヨ」草ヲ培養スルヿヲ主張スル所以ハ佛國內地ニ產出スル麻亞麻ハ毎年七千五百萬若クハ八千萬基ニ過キスシテ內地製造ノ原料ニ供スルニ足ラサレハ其原料トシテ外國ヨリ一億二三千萬基ヲ輸入セサルヲ得ス故ニ屬地ニ「フヨ」草ヲ播殖シ其收穫ヲ增加セサルヲ以テ其不足ヲ補ヒ而シテ外國品ノ輸入ヲ防カントスルノ考案ニ出テタルモノヽ如シ又右委員ノ內實驗ヲ試タルフエビエー氏ノ呈出セル意見書中本草學ニ關スル部ハ最モ肝要ナルヲ以テ左ニ其栽培法ノ大概ヲ抄記シ當局者ノ參考ニ供ス

「フヨ」草栽培法

「フヨ」草ニ目的ヲ栽培「フヨ」ノ二種アリ

佳良ニシテ氣候ハ熱帶地方ニ適シ且ツ少シ

「フヨ」草見ルモノ之カ成果ヲ硅石ヘ石灰地質ヲ選ヒル土地ハ該用フル所ノルニ土地一亞斯百分ノ肥料六七國ノ如キ乾ニ濕氣アルナケレハ「フヨ」土地ト氣候ルナリ然レ南方及西班リテ多少ノ

一プニ於テ三回ヨリ四ニ初年ハ不ヘキモノハ十乃至十二ニ付キ三萬所一回ノ收

第一年

同二年

地方ニ由リセシヿアリ

「フヨ」纖維ナレハ「フヨ」ヘシ目下馬庭最高價ハ增加スルニ下落スヘシテノ栽培費

田地下拵

肥料及手

雜草取除

合計（即

初年栽培ニ計算スルニ約二十箇年第二年目ヨリ

肥料及手

霜水費

雜草刈除

「フヨ」草

合計收穫

同

農家ヨリ自レ今之ヨリ千二百

洲工銀ノ高カ假ラヘシト雖モ內農民自レ栽培人ノ

●●●生徒募集廣告
本院ハ今月六日ヲ以テ開校シ日尙淺シト雖モ入學者已ニ三百十三人ニ及ヘリ依テ更ニ內外有名ノ諸學士ヲ增
文部省